

第4章 保健予防業務

保健予防業務は、地域住民の健康を守り、また、増進を図るため、感染症・結核等の予防対策、エイズの相談検査、精神保健福祉、認知症高齢者対策、難病の相談事業等を行っている。

1 精神保健福祉

地域におけるこころの健康の保持増進及び精神疾患の早期発見、早期治療や病気の再発防止に努めるとともに、精神保健福祉の関係団体との連携を図り、家族会、事業所、断酒会などの活動について支援した。また、管内市町村とともに自殺対策事業を実施した。

(1) 保健福祉事務所精神保健福祉業務統計

ア 相談訪問指導

(ア) 把握区分

	人 員		相 談 ・ 訪 問 数 (延)	
	実 人 員	延 人 員	新 規	年 度 再
相 談	401	2,230	292	1,938
訪 問 指 導	77	196	2	194

(イ) 相談性別・年齢

	性 別			年 齢									
	男	女	不明	0～9	10 ～19	20 ～29	30 ～39	40 ～49	50 ～59	60 ～69	70 ～79	80～	不明
実人員	174	213	14	0	29	42	60	50	73	33	40	18	56
延人員	787	1,4	15	0	69	205	377	349	782	216	118	39	75

(ウ) 訪問性別・年齢

	性 別			年 齢									
	男	女	不明	0～9	10 ～19	20～ 29	30～ 39	40～ 49	50～ 59	60～ 69	70～ 79	80～	不明
実人員	33	44	0	0	3	8	12	11	22	9	11	1	0
延人員	80	116	0	0	4	14	44	29	67	14	23	1	0

(エ) 担当者（複数対応のため延人員より多くなる）

	総数	医師	福祉職	保健師	その他職員
相 談	2,258	28	2,213	16	1
訪 問 指 導	199	3	196	0	0

(オ) 相談・訪問契機

	実 人 員	本 人	家 族	医療機関	市 町 村	その他
相 談	401	88	126	35	41	111
訪 問 指 導	77	8	7	19	8	35

(カ) 相談種別

	延 人 員	治療の問題	生活の問題	社会参加 の問題	心の健康 問題	そ の 他
相 談	2,230	1,487	619	54	43	27
訪 問 指 導	196	136	42	9	3	6

(キ) 診断名

	実 人 員	器 質 性 精 神 障 害	ア ル コ ー ル に よ る 精 神 ・ 行 動 の 障 害	ア ル コ ー ル 以 外 の 精 神 作 用 物 質 使 用 に よ る 精 神 及 び 行 動 の 障 害	妄 想 性 障 害	統 合 失 調 症 ・ 精 神 障 害	気 分 (感 情) 障 害	神 経 症 性 ・ ス ト レ ス 関 連 障 害	生 理 的 障 害 等	成 人 の パ ー ソ ナ リ テ ィ ー 及 び 行 動 障 害
相 談	401	20	23	4	88	35	23	5	4	
訪問指導	77	4	1	1	35	7	4	1	0	

	精 神 遅 滞 (知 的 障 害) 知 的 障 害	心 理 的 発 達 の 障 害	小 児 期 ・ 青 年 期 の 行 動 及 び 情 緒 の 障 害	て ん か ん	診 断 保 留 ・ 特 定 不 能	精 神 障 害 と 認 め ず	未 受 診	不 明
相 談	9	14	6	3	10	8	82	67
訪問指導	7	4	0	0	2	1	6	4

(ク) 相談者

	延 人 員	本 人	家 族	医 療 機 関	市 町 村	そ の 他
相 談	2,312	317	437	464	433	661
訪問指導	433	129	69	68	67	100

(2) 組織育成活動

地域の精神保健福祉活動が円滑に進むよう関係団体との連携を図った。

精神保健福祉関係機関・団体

団体名		回数	援助内容
精神障害者 家族会	あがむの会（綾瀬市）	0	研修会
	大和さくら会（大和市）	0	
断酒会	大和つくし断酒会	1	研修会
	矢崎断酒の会	1	
特定非営利法人「綾瀬あがむの会」		5	地域活動支援センター、グループホーム 役員会、運営委員会
当事者会		1	交流会

(3) 普及啓発活動

集団指導活動

開催年月日	内容	内 容	参加者
——	家族教室	新型コロナウイルス感染拡大防止のため未実施	—

(4) 医療保護関係事務

ア 精神保健診察

精神保健福祉法に基づく精神保健診察の申請、通報に対し、精神保健福祉センター兼務職員として調査等を行った。(夜間・休日対応を除く)

	受理 件数	調査 件数	精 神 保 健 診 察 結 果				
			要措置	不 要 措 置			
				入 院	入院外	不実施	取り下げ
法 23 条	17	17	8	3	1	4	1

イ 精神科病院実地指導・実地審査

(ア) 実地指導

精神保健福祉法に基づき、管内の精神科病院に人権に配慮した適切な入院処遇などの指導を行った。

施 設 数	実施件数	実施日
1	1	令和4年12月13日(定期)

(イ) 実地審査

精神保健福祉法に基づき、管内精神科病院および管内の住民が入院する精神科病院の入院患者の入院形態の審査を行った。

施 設 数	審査 患者数	審 査 結 果								
		措置入院			医療保護入院				任 意 入 院	
		要 措置	措置 不要	継続	継続	移行	入院 不要	継続	移行	入院 不要
1(定期)	6				6					
1(新規)	1	1								

(ウ) 医療保護事務(進達件数)

	件 数	計
医療保護入院届	151	423
医療保護入院退院届	155	
定期病状報告(内措置数)	117(0)	

(5) 会 議

管内の精神保健福祉業務を推進し、関係機関・団体との連携を図るため、地域精神保健福祉連絡協議会及び実務担当者会議やケース会議等を開催した。

ア 地域精神保健福祉連絡協議会

開催年月日	内 容	出席数
令和5年2月 (オンライン開催)	精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築、推進	25

イ その他の会議

開催年月日	会 議 名	内 容	出席数
令和4年6月15日	第1回ケース会議	精神保健福祉事例検討	12
令和4年10月19日	第2回ケース会議	精神保健福祉事例検討	12
令和5年1月18日	第3回ケース会議	精神保健福祉事例検討	11
令和5年8月4日	管内2市との連絡会 実務担当者会議	関係機関役割分担確認、連携確認	6

(6) 地域自殺対策事業

ア 自殺未遂者支援研修会

開催年月日	内 容	出席数
——	新型コロナウイルス感染拡大防止のため未実施	—

イ 地域自殺対策検討会

開催年月日	議 題	助言者	出席数
令和5年2月 (オンライン開催)	地域自殺対策の現状と課題	精神科医師	25

ウ ゲートキーパー養成研修 (講師は当センター職員)

開催年月日	内 容	対 象	参加数	備考
令和4年7月13日 10月6日	ゲートキーパー養成研修	保健師実習生	6	
令和4年10月21日 11月28日	大和市こころサポーター 養成講座	大和市民	25	大和市主催
令和4年12月15日	綾瀬市新採用職員研修	綾瀬市職員	38	綾瀬市主催
令和5年1月17日	新型コロナ感染症下の メンタルヘルスケア	個人事業主	71	大和青色申告会 役員会主催

2 認知症疾患対策

ねたきり・認知症予防対策を効果的に推進するため、相談、訪問等を関係機関相互に連携し、行った。「認知症等行方不明SOSネットワークシステム」は関係機関の理解と協力を得ながら各市の支援に努めた。

(1) 認知症疾患相談事業

専門的相談を行い、認知症疾患に対する知識と理解を深め適切な医療と療養生活ができるよう支援した。

ア 相談内容

	相 談 延 件 数 ～ 延 件 数	相談内容 (延数)							総 数 (延 べ 数)
		疾 病 一 般	問 題 行 動	治 療 関 係	看 護 介 護	入 院 入 所	サ ー ビ ス 介 護 保 険	そ の 他	
専門医の定例相談	6	0	3	3	1	0	1	1	9
保健師等の随時相談	114	0	49	89	38	16	10	31	233
総 数	120	0	52	92	39	16	11	32	242

イ 相談の対象と方法

	相談件数 (計)	相談の対象		相談の方法			
		新規相談	継続相談	電話	面接	訪問	文書等
定例相談	6	6	0	1	0	5	0
随時相談	114	33	81	114	0	0	0
総数	120	39	81	115	0	5	0

(2) 訪問指導事業

	訪問数						年齢別					
	男		女		総数		50～	60～	70～	80～	90～	総数
	実数	延数	実数	延数	実数	延数						
件数	1	1	2	2	3	3	0	0	3	0	0	3

(3) 専門職派遣

ア 支援者対象研修会

開催年月日	内 容	講 師	出席数
令和5年2月17日	テーマ「認知症の問題行動と妄想性障害」 講演、質疑応答	清川遠寿病院 岩元誠院長	56

イ 認知症初期集中支援チーム会議、事例検討

開催年月日	出席数
令和5年1月19日	5

(4) 管内認知症担当者連絡調整会議

開催年月日	内 容	対 象	出席数
令和5年3月2日	認知症対策事業及び若年性認知症支援、 認知症等行方不明SOSネットワークに ついて	管内地域包括支援センター、 警察署、医療機関、 行政職員	20

3 感染症予防

感染症患者・病原体保有者及びその接触者を対象に、疫学調査を行い、二次感染の防止に努めた。

また、感染症の発生状況を把握するため、観測定点（医療機関 15 か所）を設け、国で行う感染症発生動向調査事業の推進を図るとともに、感染症を予防するために講演会や普及啓発を実施した。

新型コロナウイルス感染症について、患者及び関係者への疫学調査、陽性者の療養調整及び健康観察、帰国者・接触者への相談業務などを実施した。

(1) 1・2類感染症（結核は除く）（令和4年） 発生なし

(2) 3・4・5類感染症（令和4年）

(参考) 令和4年度（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）

類型	感染症名	件数
3類	腸チフス	1
4類	E型肝炎	1
	レジオネラ症	2
5類	アメーバ赤痢	3
	ウイルス性肝炎	2
	侵襲性肺炎球菌感染症	3
	梅毒	17
	百日咳	4

類型	感染症名	件数
3類	腸チフス	1
4類	E型肝炎	1
	レジオネラ症	2
5類	アメーバ赤痢	2
	ウイルス性肝炎	1
	侵襲性肺炎球菌感染症	3
	梅毒	20
	百日咳	4
	水痘	1

(参考) 令和4年度（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）

類型	病名	件数
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症	46,298 * (60,275)

類型	病名	件数
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症	31,051 * (51,145)

* () 内の件数は令和4年9月26日より発生届の届出対象が変更されたことに伴い、「医療機関から報告された患者数」に基づき算出しています。

(3) 感染症診査協議会 (令和4年)

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の施行に伴い、1・2類感染症・指定感染症について入院勧告を行った場合、1～3類感染症・指定感染症について就業制限を行った場合、協議会を開催する。本年度は就業制限を1件行った(結核、新型コロナウイルス感染症を除く)。

(4) 新型インフルエンザ等地域医療体制会議・感染症対策会議

新型コロナウイルス感染症を中心に、関係機関と連携したまん延防止と迅速かつ適切な対応に向けた情報の共有や地域医療体制及び患者支援体制の整備を行うため会議(ZOOM会議方式)を実施した。また、管内の感染症の発生状況、新型インフルエンザ対策などについて情報を共有した。

開催年月日	内 容	対 象	出席数
令和4年 12月2日 (オンライン開催)	1 感染症対策 (1) 管内の感染症発生状況について (2) 解禁の感染症の動向 2 新型コロナウイルス感染症への対応について 3 新型インフルエンザ等への対応について	管内医師会・歯科医師会・ 薬剤師会・管内病院・管 内市町村担当課・消防本 部・警察署・県関係機関	13名

(5) 学級閉鎖状況

インフルエンザ・インフルエンザ様疾患によるもの

	2022/23 シーズン		
	施設数	学級数	欠席者数
保 育 園	0	0	0
幼 稚 園	1	3	20
小 学 校	22	83	394
中 学 校	3	4	32
そ の 他 の 学 校	0	0	0
総 数	26	90	446

(6) 感染症予防教育

感染症予防講演会

開催年月日	対 象	内 容	場 所	出席数
令和5年 1月17日	一般社団 法人大和 青色申告 会役員	1 新型コロナウイルス感染症をはじめ とした最近の感染症事情について 2 新型コロナウイルス感染症下のメン タルヘルスケアについて	海老名レン ブランドホ テル	71名

(7) 保健指導

ア 新型コロナウイルス感染症以外の感染症への保健指導

(ア) 感染症電話相談

88件

(イ) 患者（疑い例含む）及び接触者調査等実施状況

類型	感染症名	調査件数	調査等実施状況	
			行政検査(患者分再掲)	その他
3類	腸チフス	1	1 (1)	
4類	レジオネラ症	2	2 (2)	
5類	侵襲性肺炎球菌感染症	2	2 (2)	

(ウ) 施設等での感染症集団発生時の指導

疾病	指導内容	高齢者施設	医療機関	保育園	幼稚園 学校	障害者施設	総数
インフルエンザ	電話			10			10
	実地指導(再掲)			0			0
感染性 胃腸炎	電話	2			1		3
	実地指導(再掲)	2			0		2
その他の感 染症	電話						0
	実地指導(再掲)						0

イ 新型コロナウイルス感染症への保健指導

(ア) 相談状況

相談対応件数 (実数)	本人、家族等接触者からの相談件数(延数)		一般的な相談 件数 (延数)
	陽性者、濃厚接触者、所属集団 の対応のこと (療養支援サービス、健康観察、 検査、感染予防等)	療養期間終了後のこと (療養証明書、療養期間修正、 ワクチン、後遺症、再検査等)	
17,862件	10,316件	7,356件	5,939件

(イ) 積極的疫学調査実施状況

(件)

調査 件数計	令和4年									令和5年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
8,512	550	375	152	1,804	2,700	773	155	368	843	568	159	65

(ウ) 集団感染発生への対応実施状況

施設発生への調査件数	集団感染の疑いで 行政検査実施の施設			(再掲)集団感染の疑いで 当所検体採取実施の施設		
	施設数	施設数	検査数	陽性者数	施設数	検査数
* 575 施設	43 施設	2,406 件	203 人	12 施設	704 件	47 人

*【調査施設内訳】 児童福祉施設 20、高齢者施設 401、障害者施設 117、医療機関 37

(エ) 療養先の調整実施状況

計	入院	施設療養・自宅療養
8,512 件	812 件	7,700 件

4 エイズ（性感染症）予防

エイズの正しい知識の普及・啓発を図るため、講演会を実施した。また、無料・匿名のエイズ検査、梅毒検査を原則火曜日に開催した。

(1) エイズ相談・検査（含む梅毒検査）

エイズ予防のため健康相談と血液検査を実施した。

ア 令和4年度エイズ相談・検査実施状況

HIV 抗原抗体同時検査（第4世代通常検査）を実施した。

年度	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	平成 31 年 /令和元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年
相談	830	803	463	343	305	194	184	161	156	282
検査	* 186	* 193	* 136	* 110	* 107	* 98	86	82	80	138

*臨時検査を含む。

イ 令和4年度エイズ検査（性・年齢別）実施状況

実施回数 37 回

	総 数	0～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60 歳以上
男	84	1	26	24	17	11	5
女	54	3	20	12	10	6	3

ウ 令和4年度梅毒検査実施状況

実施回数 37 回

年度	平成 30 年	平成 31 年 /令和元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年
検査	97	85	82	80	134

(2) エイズ予防普及事業

青少年エイズ・性感染症予防講演

実施年月日	実施校名(学年)	所属 講師名	参加数
令和4年 12月8日	大和商業高等専修学校(1年生)	林間クリニック産婦人科 医師 南淵 芳氏	87

5 結核予防

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づく健康診断及び患者指導を実施し、結核予防に努めた。

(1) 結核患者発生に伴う健康診断

ア 接触者健康診断・管理検診

登録患者及びその接触者に対し健康診断を実施した。

	対象数 (実数)	受診者(延数)		受診結果(実数)		
		当所	医療機関*	要医療	経過観察	異常なし
接触者健康診断	55	51	6	3	1	52
管理検診	0	/	1	0	0	0

*受診券を発行し委託医療機関に受診した数

健診内容

事業区分	直接撮影 (医療機関)	ツベルクリン反応検査		IGRA 検査		喀痰検査
		当所	医療機関	当所 (QFT)	医療機関 (QFT・T-spot)	
接触者健康 診断	2 (延 2)	0 (延 0)	1 (延 1)	48 (延 51)	5 (延 6)	0 (延 0)
管理検診	0 (延 0)	/	/	/	/	/

イ 外国籍県民結核健康診断事業

開催年月日	内容	出席数
——	新型コロナウイルス感染拡大防止のため未実施	—

(2) 結核患者発生に伴う患者指導

ア 服薬支援事業

結核患者が確実に抗結核薬を服用することにより、結核のまん延防止と、多剤耐性結核の発生を予防するため、服薬支援(DOTS)を実施した。

訪問 DOTS 延件数	所内面接 DOTS 延件数	電話 DOTS 延件数
85 件	27 件	257 件

イ DOTSカンファレンス

結核治療が必要な患者に対し、服薬終了まで支援することを目的に、各地区担当保健師で支援方法等について検討した。

実施回数	対象延件数
12回	316件

ウ 定期病状調査

結核終了後の経過観察者の適切な患者管理に資するために、医療機関へ定期病状調査を実施した。

調査件数
7件

(3) 結核患者の状況

ア 登録患者数

(ア) 年末現在登録患者数（受療状況別）

	総 数	活 動 性 結 核				不 活 動 性 結 核	活 動 性 不 明	*潜 在 性 結 核 感 染 症 (別 掲)	
		肺結核活動性			肺 外 結 核 活 動 性				
		登録時 喀痰塗 抹陽性	登録時 その他 の結核 菌陽性	登録時 菌陰性・ その他					
令和3年	60	3	6	1	6	21	23	20	
令和4年総数	56	8	4	2	4	12	26	18	
受療別 (総数)	入 院 中	10	7	2	1				
	外 来 治 療 中	11	1	2	2	3	3	5	
	治 療 な し	27					12	15	9
	不 明	8						8	4
受療別 (大和市)	入 院 中	7	5	1	1				
	外 来 治 療 中	6	1	2	1		2	5	
	治 療 な し	19					10	9	9
	不 明	5						5	4
受療別 (綾瀬市)	入 院 中	3	2	1					
	外 来 治 療 中	5			2	2	1		
	治 療 な し	8					2	6	
	不 明	3						3	

*潜在性結核感染症について：「結核医療の基準について（平成21年1月23日健感発第0123005号）」により潜在性結核感染症の検査法や治療を規定。

(イ) 年末現在登録患者数（年齢別）

	総 数	活 動 性 結 核				不 活 動 性 結 核	活 動 性 不 明	*潜 在 性 結 核 感 染 症 (別 掲)
		肺結核活動性			肺 外 結 核 活 動 性			
		登録時 喀痰塗 抹陽性	登録時 その他 の結核 菌陽性	登録時 菌陰性・ その他				
総数(令和4年末)	56	8	4	2	4	12	26	18
0～9歳	1		1					1
10～19歳	1						1	
20～29歳	5				1	1	3	2
30～39歳	7		1	1		2	3	3
40～49歳	10	2			1	2	5	2
50～59歳	4					1	3	3
60～69歳	5				1	1	3	2
70～79歳	5	1	1			1	2	4
80～89歳	12	4	1		1	3	3	0
90歳～	6	1		1		1	3	1

イ 新登録患者数（令和3年・4年）

	総 数	活 動 性 結 核				*潜在性 結 核 感染症 (別掲)
		肺結核活動性			肺外結核 活動性	
		喀痰塗抹 陽 性	その他の 結核菌陽性	菌陰性・ その他		
令和3年	20	5	8	2	5	9
令和4年総数	27	10	7	4	6	10
0～9歳	1		1			1
10～19歳						1
20～29歳	2			1	1	
30～39歳	5	1	2	2		1
40～49歳	3	2			1	1
50～59歳	1	1				3
60～69歳	1				1	1
70～79歳	2	1	1			2
80～89歳	9	5	2		2	
90歳～	3		1	1	1	

(4) 厚木保健福祉事務所感染症診査協議会(結核部会)

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」第24条の規定に基づき、申告に係る必要な事項を審議するため設置され、委員6名で組織されている。(昭和61年4月から厚木保健福祉事務所内に設置される)

ア 開催回数 24回

イ 医療費公費負担診査件数(令和4年)

	総数	37条 申請	37条の2申請(一般患者)							
			小 計	被用者保険		国民保険		後 期 高 齢 者	生 活 保 護	そ の 他
				本 人	家 族	一 般	退 職 者			
申請件数 (総数)	83	30	53	17	9	7	0	18	2	0
医療内容 承認	83	30	53	17	9	7	0	18	2	0
公費負担 不承認	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
公費負担 保留	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(5) 結核医療従事者研修事業等研修会

実施年月日	内 容	所属 講師名	参加数
令和5年 2月27日	結核の基礎知識と施設(高齢者、 医療機関)等の対応について	結核予防会結核研究所 平尾 晋 氏(医師)	43

6 難病対策

原因が不明で治療が未確立の難病のうち、国の指定した疾病により治療を受けた者に対し、医療費公費負担申請事務の手続きを行った。平成27年1月からは「難病の患者に対する医療等に関する法律」が施行され、対象疾患が110疾患とされていたが、同年7月から306疾患、平成29年4月から330疾患、平成30年4月から331疾患、令和元年7月から333疾患、令和3年11月から338疾患に拡大された。

また、患者支援として、患者やその家族への家庭訪問の実施、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため講演会、教室等は開催を中止した。

(1) 特定医療費（指定難病）医療援護

ア 特定医療費支給認定申請状況(令和5年3月31日現在)

新規申請数	287件
受給者数	2,214件

イ 難病対策

医療援護の手続きを行うとともに患者、家族の療養生活支援及び社会参加を図るため、相談指導を実施し、保健・医療・福祉の関係機関との連携のもとに、よりよい保健福祉サービスの充実に努めた。

(2) 家庭訪問・所内相談

ア 家庭訪問

区分	総数	神経系	膠原病	消化器系	血液系	循環器
実件数	16	15	1	0	0	0
延件数	33	32	1	0	0	0

イ 所内相談

区分	総数	面接	電話	文書
延件数	2,445	1,299	1,089	57

(3) 難病患者地域支援ネットワーク事業

ア 在宅療養支援計画策定・評価事業

開催年月日	内容	講師	出席数
——	新型コロナウイルス感染拡大防止のため未実施	——	—

イ 医療相談等事業

(ア) 講演会・相談会（対象者：対象疾患の患者及び家族、その他関係者等）

開催年月日	内容	講師	参加数
——	新型コロナウイルス感染拡大防止のため未実施	——	—

(イ) 難病リハビリ教室（難病ふれあい教室）（対象者：主に神経系難病等の患者及び家族）

開催年月日	内 容	講 師	参加数
——	新型コロナウイルス感染拡大防止のため未実施	——	—

(ウ) 難病患者と家族のつどい（対象者：全疾患患者及び家族）

開催年月日	内 容	講 師	参加数
——	新型コロナウイルス感染拡大防止のため未実施	——	—

(4) 難病患者等保健福祉従事者研修会

開催年月日	内 容	講 師	参加数
——	新型コロナウイルス感染拡大防止のため未実施	——	—

(5) 難病委員会

関係機関と連携し、難病の方も地域で暮らせる地域包括ケアシステムの構築に向け委員会を開催した。

開催年月日	内 容	対 象	出席数
令和5年 2月7日 (オンライン開催)	(1) 難病の方も地域で暮らせる地域包括ケアシステムの構築に向けて～新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況下の難病患者の事例から今後の支援を考える～ (2) その他	管内医師会、管内地域包括支援センター、管内市町村担当課、かながわ難病相談・支援センター、学識経験者	17名

7 骨髄ドナー登録

血液難病患者にとって有効な治療である骨髄移植を推進するため、骨髄ドナー登録窓口を設置した。

開催回数	登録者
5回 (隔月1回)	1人

8 原爆被爆者援護

原爆被爆者健康手帳及び健康診断受診者証等の交付の手続きを行った。また原爆被爆者等の定期健康診断を年2回実施した。

(1) 被爆者健康手帳等交付状況

	総数	新規交付	返納
被爆者健康手帳	84	1	6
第一種健康診断受診者証	1		
第二種健康診断受診者証	1		
被爆者のこども健康診断受診証	172	0	1
総数	258		6

(2) 被爆者健康診断受診状況

	総数	被爆者	特例受診		被爆者のこども	要精検者	要治療者
			1種	2種			
令和2年度	4	2			2	1	
令和3年度	4	2			2	2	
令和4年度	4	1			3	0	

9 肝臓疾患相談事業

C型及びB型肝炎ウイルス検査を実施し、検査の普及を図るとともに、肝臓疾患患者や家族に対し、医療及び日常生活に係わる相談指導、助言を行い、病状悪化及び感染の防止を図った。

(1) C型及びB型肝炎ウイルス検査

	所内（受診人数）	委託医療機関（受診人数）
C型肝炎ウイルス検査	2	0
B型肝炎ウイルス検査	2	0

(2) 肝炎治療医療費助成

神奈川県肝炎治療医療給付実施要綱に基づき、B型及びC型の肝炎ウイルスのインターフェロン治療、B型肝炎ウイルスの核酸アナログ製剤治療、C型ウイルス性肝炎のインターフェロンフリー治療を行う者に対して、医療給付等の申請について県への経由事務を行いました。

区分	肝炎治療医療費助成申請件数
交付申請	200
その他	11